文法への扉2 「ない」の違いがわからない？（文法のまとめ）(1)

文節

文を自然な発音や意味となる範囲でできるだけ短く区切ったまとまりを**文節**という。各文節は文の中でさまざまな働きをする。

●**主語・述語**　(例) 庭に／きれいな／花が／咲く。
主語と述語の関係を、**主・述の関係**という。

●**修飾語**　(例) 庭に／きれいな／花が／咲く。
修飾語と修飾語を受ける文節の関係を、**修飾・被修飾の関係**という。

●**接続語**　(例) 晴れた。／だから、／外で／遊んだ。
接続語がつなぐ文同士の関係や、接続語と後に続く部分の関係を、**接続の関係**という。

●**独立語**　(例) ああ、／すばらしい／景色だ。
独立語とそれ以外の文節の関係を**独立の関係**という。

二つ以上の文節がまとまって主・述・修飾・接続・独立の働きをするものを**連文節**といい、**主部**・**述部**・**修飾部**・**接続部**・**独立部**などとよぶ。連文節では、並立や補助といった関係がみられることがある。

・**並立の関係**　(例) 雨と 風が 強い。（並立の関係（主部））　山は 高く けわしい。（並立の関係（述部））

・**補助の関係**　(例) 犬が 走って いる。（補助の関係（述部））　今日は 暑く ない。（補助の関係（述部））

単語

それだけで意味をもつ最も小さい言葉の単位を**単語**という。単語は大きく自立語と付属語に分けられる。

●**自立語**…単独で文節を作ることができる。
※各文節に一つだけ含まれる。

●**付属語**…単独では文節を作ることができない。
※文節に含まれないことや、複数含まれることもある。

(例) 赤い（自）／花（自）が／咲き（自）まし た。

単語を分類したものを**品詞**という。単語は、**自立語**か**付属語**か、**活用**があるかないか、どのような文の成分になるか、などによって10種類の品詞に分けられる。

- 単語
  - 自立語
    - 活用する ― 述語になる（用言）
      - 動作・作用・存在を表す・終止形が「ウ段」で終わる ― **動詞**
      - 状態・性質を表す
        - 終止形が「い」で終わる ― **形容詞**
        - 終止形が「だ・です」で終わる ― **形容動詞**
    - 活用しない
      - 主語になる（体言） ― 物事の名前を表す・物事を指し示す ― **名詞**
      - 修飾語になる
        - 主に用言を修飾する ― **副詞**
        - 常に体言を修飾する ― **連体詞**
      - 接続語になる ― **接続詞**
      - 独立語になる ― **感動詞**
  - 付属語
    - 活用する ― **助動詞**
    - 活用しない ― **助詞**

確認テスト

(1) 例に従って、次の文を斜線（しゃせん）（／）で文節に区切りなさい。また、含（ふく）まれる自立語を□で囲み、付属語に——線を引きなさい。

（例）［花］が／［咲き］ました。

私は昨日、文法を勉強しました。

(2) 次の各文の——線部の文節同士の関係を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。ただし同じ記号を何度使ってもよい。

① 白い 鳥が 空を 飛んだ。（　　）
② メッセージが 書いて ある。（　　）
③ この 食べ物は 安くて おいしい。（　　）
④ あの 赤い 花は ツバキです。（　　）
⑤ 言葉の 誤用は めずらしく ない。（　　）
⑥ シカや キツネが 生息する。（　　）
⑦ 今朝 みんなと 校庭で 走った。（　　）
⑧ 彼（かれ）も この 中学校の 生徒です。（　　）

ア 主・述の関係　**イ** 修飾・被修飾の関係
ウ 並立の関係　**エ** 補助の関係

(3) 次の各組の単語の品詞を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 花・これ・いくつ（　　）
② 歩く・見る・着る（　　）
③ 赤い・丸い・新しい（　　）
④ 静かだ・きれいです（　　）

ア 動詞　**イ** 形容詞　**ウ** 形容動詞　**エ** 名詞

(4) 次の各組の単語の品詞を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① この・大きな・あらゆる（　　）
② ゆっくり・とても・もし（　　）
③ だから・しかし・そして（　　）
④ ああ・ねえ・おはよう・はい（　　）

ア 副詞　**イ** 連体詞　**ウ** 接続詞　**エ** 感動詞